MITSUBA

取扱説明書

このたびは、ミツバ ガードッグII（TKS−08）をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用になる前に、本書を必ずお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後も、本書は必要になった時、すぐに利用できるように大切に保管してください。

☆本製品を譲渡・貸与する場合には、本書を必ず製品に付帯させ、お使いになる方がいつでも見られるようにしてください。

1 安全に関する注意事項

この取扱説明書では安全上重要な項目に下記のマークを表示しています。各マークの意味は次の通りです。

⚠ 警告 ……… 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。また、法律に違反することを意味します。

⚠ 注意 ……… 取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定されることを意味します。また、製品を損傷、故障させる恐れがあることを意味します。

⚠ 警告

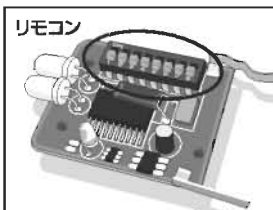
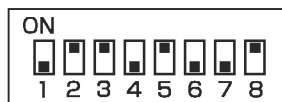
- 本製品を警戒ONしたまま絶対に走行しないでください。走行中に警報した場合、重大な事故の原因になります。
- 本製品をハンドルに固定したまま絶対に走行しないでください。重大な事故の原因になります。
- 本製品を使用しないときは必ず本体のスライドロックを全閉または全開にしてください。それ以外の位置では本体が受信待機状態となるため、不意のリモコン操作で警戒ONとなる可能性があります。走行中に警報した場合、重大な事故の原因となります。
- 本製品のサイレンは大音量のため、耳のそばで作動させたり、長時間の試聴はしないでください。耳に障害を与える恐れがあります。
- 本製品は車内に人（特にお子様）やペットを残したまま絶対に警戒ONしないでください。誤動作の原因になるばかりでなく、耳に障害を与える恐れがあります。
- テストをする場合は、必ず車の外に出てドアを閉めてから行ってください。また、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。耳に障害を与える恐れがあります。
- 電池交換の際、交換した電池は幼児の手の届かないところにおいて早めに処分してください。万一飲み込んでしまった場合には、すぐに医師に相談してください。
- パッケージに使用しているホチキス止めの取り扱いに注意してください。手や衣服を傷つける恐れがあります。また、幼児の手の届かないところにおいて早めに処分してください。万一飲み込んでしまった場合には、すぐに医師に相談してください。

⚠ 注意

- ご使用前に必ず本体・リモコンの電池が消耗していないことを確認してください。使用中に作動しなくなる恐れがあります。
- スライドロックは勢い良く開きますので、本体をしっかりと持って操作してください。手を痛める恐れがあります。また、落下させた場合、故障の原因となります。
- 本製品の分解（電池交換・ID設定以外）、改造は絶対に行わないでください。故障の原因となります。
- 本製品は落としたり、硬いものにぶつけないでください。また、水がかからないようにしてください。故障の原因となります。

4 リモコンのID設定方法

本製品は、ご購入時の設定でお使いになれますが、この設定を行うことにより、他のリモコンでの作動を防ぐことができます。

①本体の電池蓋を開け、電池をはずしてください。
②リモコン裏側のネジ（1個所）を+ドライバーではずし、裏蓋をはずしてください。基板を固定しているネジ（3個所）を+ドライバーではずし、基板を取り出してください。※部品を紛失しないよう注意してください。
③本体とリモコン双方のDIPスイッチ（1列に8個並んだ小型スイッチ）のON/OFFがすべて一致するように任意に動かしてください。
④DIPスイッチのON/OFFがすべて一致していることを確認してから、本体、リモコンの蓋を元通りに取り付け、作動を確認してください。

DIPスイッチ設定例

※本体とリモコンの設定が完全に一致していないと作動しません。

5 電池交換時期

交換した電池は、幼児の手の届かないところにおいて早めに処分してください。万一飲み込んでしまった場合には、すぐに医師に相談してください。

本体

本体をハンドルにセットしたとき、本体の「LOW　BATT」LEDが赤く点灯する場合は本体の電池が消耗しています。正常な作動ができなくなる恐れがありますので、すぐに新しい電池と交換してください。電池の交換は、本体正面の電池蓋をはずし、+−を確認して4本同時に交換してください。　[単3形アルカリ乾電池:4本]

リモコン

リモコンのSET/RESETボタンを押してもリモコンのLEDが点灯しない場合や、送信距離が短くなったら、すぐに新しい電池と交換してください。電池の交換は、リモコン裏側のネジを+ドライバーではずし、裏蓋をはずして行います。+−を確認して交換してください。　[12Vアルカリ乾電池（LRV08）:1本]
※交換の際は部品を紛失しないよう注意してください。
※リモコンにあらかじめセットされている電池は、テスト用ですので電池寿命が短い場合があります。

6 リモコン・ディンプルキーを紛失したら

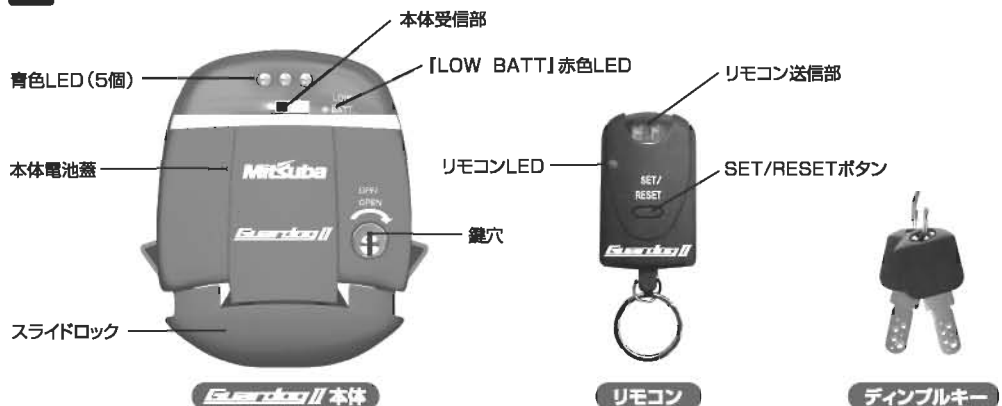
リモコン、ディンプルキーを紛失または修理不可能な破損をした場合は、リモコンのみ、ディンプルキーのみの購入ができます。販売店または取扱店へご注文ください。この場合、新しいリモコンのID設定が必要となります。本書の 4 リモコンのID設定方法に従い設定してください。また、ディンプルキーをご注文の際は、ディンプルキーに刻印された番号が必要となります。ご使用いただく前に必ず控えておいてください。
※ディンプルキーは紛失した場合に備え、1つをスペアとして別に保管することをお勧めします。

ディンプルキー刻印No.					

本製品は日本国内で企画・開発・設計し中国の工場で製造したものです。　MADE IN CHINA

⚠ 使用上の注意

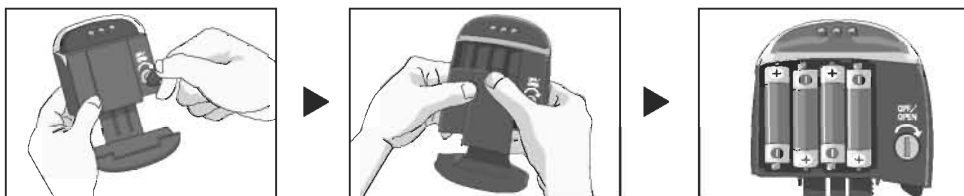
- 本製品を車の盗難警報以外の目的で使用しないでください。
- 本製品は車両に対するいたずらや盗難に対して警報を発するものであり、盗難、車上狙い等を防止するものではありません。本製品を取り付けたお車が万一盗難事故やいたずら等の被害に遭われましても、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。また、本製品の動作の有無にかかわらず発生した被害についても当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は次のような場合にも警報することがありますので注意してください。
  ①強風、豪雨、台風等の気象条件の場合。②地震が起きた場合。③線路付近、幹線道路沿い、工事現場付近、飛行場付近等、振動の発生する場所で使用した場合。
- 本製品以外の盗難警報機やセキュリティーシステムを取り付けている車（メーカー純正品を含む）での併用は誤動作を起こす恐れがあります。
- 本製品をリモコンエンジンスターターと併用しないでください。（エンジン始動時の振動により警報することがあります。）
- 窓ガラスにメタル系のウィンドーフィルムが貼ってある車や、メタル系の遮光ガラスの車では車外からのリモコンによる操作ができない恐れがあります。
- ガードッグⅡを使用しないときは、必ずスライドロックを全閉または全開の位置にしてください。それ以外の位置では、本体が受信待機状態となり電池が消耗します。
- 本製品を長期間使用しない場合は、本体の電池を抜いて保管してください。
- 本製品のリモコンにあらかじめセットされている電池はテスト用ですので、電池寿命が短い場合があります。

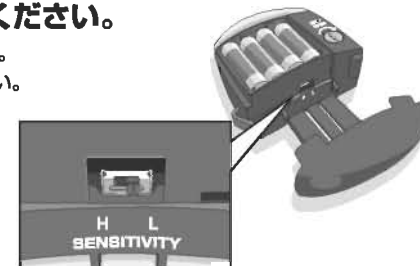
2 セット内容・各部名称

3 使用方法

本製品は、リモコンのIDを任意に設定することができます。ご購入時の設定のままでもお使いになれますが、この設定を行うことにより、他のリモコンでの作動を防ぐことができます。あらかじめIDを変更する場合は次項 4 リモコンのID設定方法に従い設定してください。

① 本体に電池をセットしてください。 単3形アルカリ乾電池4本使用（別売）

⚠注意　スライドロックは勢い良く開きますので、本体をしっかりと持って操作してください。手を痛める恐れがあります。また、落下させた場合、故障の原因となります。

- 本体の鍵穴にディンプルキーを差し込み、矢印の方向に回してスライドロックを開いてください。
- 本体の電池蓋をはずし、+−を確認して電池をセットしてください。

▶
▶
② 必要に応じてセンサー感度を切り替えてください。

- センサー感度切替スイッチは、通常はH側でご使用ください。
  H側で感度が高すぎる場合、L側に切り替えてご使用ください。

③ ハンドルへ固定してください。

※本製品はハンドルの太さが Φ22mm以上〜Φ33mm以下の車に使用できます。

⚠警告　本製品をハンドルに固定したまま絶対に走行しないでください。重大な事故の原因になります。

- 本体を車のハンドルに固定します。ぐらつかないように、しっかりとスライドロックを締めてください。

※ディンプルキーを本体から抜いてスライドロックを締めてください。キーがOFF/OPENの位置ではロック機構が働きません。

④ 警戒を開始します。

⚠警告
- 本製品を警戒ONしたまま絶対に走行しないでください。走行中に警報した場合、重大な事故の原因になります。
- 本製品のサイレンは大音量のため、耳のそばで作動させたり、長時間視聴しないでください。耳に障害を与える恐れがあります。
- 本製品は車内に人（特にお子様）やペットを残したまま絶対に警戒ONしないでください。誤動作の原因になるばかりでなく、耳に障害を与える恐れがあります。
- テストをする場合は、必ず車の外に出てドアを閉めてから行ってください。また、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。耳に障害を与える恐れがあります。

- 車から降り、ドアをロックしてください。
- リモコンの送信部を本体受信部へ向け、SET/RESETボタンを押してください。
- 本体上部の青色LEDが1回フラッシュした後、スキャニングを開始し、警戒ONとなります。

※直射日光の下では、リモコン操作の送受信距離が短くなる場合があります。

- **警戒状態で車の振動を感知すると、130dBの大音量サイレンと5連の青色LEDのフラッシュ点滅で約30秒間警報を発します。**
- 警報中に振動が無い場合は、再び警戒状態へ戻ります。
- 警報中にリモコンのSET/RESETボタンを押すことで、警報を止めることもできます。

⑤ 警戒を解除します。

⚠警告　本製品を使用しないときは必ず本体のスライドロックを全閉または全開にしてください。それ以外の位置では本体が受信待機状態となるため、不意のリモコン操作で警戒ONとなる可能性があります。走行中に警報した場合、重大な事故の原因となります。

- ドアをアンロックする前にリモコンの送信部を本体受信部へ向け、SET/RESETボタンを押してください。
  本体上部の青色LEDが1回フラッシュし、警戒状態が解除されます。
- ディンプルキーでスライドロックを開き、ハンドルから取り外してください。

※ガードッグⅡを使用しないときは、必ずスライドロックを全閉か全開の位置にしてください。それ以外の位置では、本体が受信待機状態となり電池が消耗します。
※スライドロックを全開・全閉したあと「LOW　BATT」赤色LEDが一回点滅しますが、電池消耗、故障ではありません。